



敗戦80年

## 物理学の100年と80年目の原爆忌

今年は昭和100年だそう。物理学の世界では、原子や原子核の性質を解き明かす量子力学が誕生して100年を迎える。その成果はスマホやコンピュータなどの半導体技術、そして量子コンピュータ開発につながっている。その一方では80年前の8月6日の広島、続いて9日長崎への原爆投下がどれほどの悲惨な結果を招いたか、私たちの記憶から拭い去ることはできない。

昨年「日本被団協」がノーベル平和賞を受賞したのは一筋の光だが、日本は米国の核の傘の下にあることで核兵器禁止条約を批准していない。そんな中、先の参院選挙では極右の女性候補が防衛には「核兵器が最も安上がり」と発言して高得票で当選した。戦後80年にして極右政党が得票



広島の惨禍(部分) 2006年  
関 綾子 1922 - 2020

を伸ばすとは心外である。この8月6日は広島原爆の日。湯崎英彦広島県知事は式典での挨拶の中で「核抑止が益々重要だと声高に叫ぶ人達がいます。しかし本当にそうなのでしょ

うか。……歴史が証明するように古代ギリシャの昔から、力の均衡による抑止は繰り返して破られてきました。なぜなら抑止とは、あくまで頭の中で構成された概念又は心理、つまりフィクションであり、万有引力の法則のような普遍的物理的真理ではないからです。」と述べた。

物理的真理である量子力学と相対性理論の専門家として動員された科学者によつて作られた原爆を、権力者が使用すると決定を下し、広島・長崎の人々は悲惨な死と、耐えられぬ傷として放射線による病魔を負った。

さらにはビキニ海域ほかでの水爆実験による被害(これには米国民も含まれる)にも怒りを禁じえない。

科学者の倫理観も問われるべきだろう。

湯崎氏は続ける。「国破れて山河あり。かつては抑止が破られ国が荒廃しても、再建の礎は残っていました。国守りて山河なし。もし核による抑止が、歴史が証明するようにいつか破られて核戦争になれば、人類も地球も再生不能な惨禍に見舞われます。」と。

これからの100年、いや永劫に平和を願うばかりである。

どうぞお越しください。

## ちょっと硬派な「おしゃべりカフェ」へ



野田・九条の会では毎月19日、政治や社会現象についてなんでも自由に話せるちょっと硬派な「おしゃべりカフェ」を開催しています。考え方の全く違う方とも対等に話せる時間は、頭の体操にもってこいではないでしょうか。認知症予防にもなるのでは？

左蘭「今月の予定です」で確認を！  
お待ちしております。

● 政治や憲法など自由に懇談、どなたもお気軽に参加ください。

## 今月の予定です



9月9日(火) 16:00 ~ 17:00

9月9日 九条通信配布とアピール  
梅郷駅 自由通路 野田・九条の会

9月13日(土) 13:30 ~ 16:00

野田・九条の会 「参政党の向かう先は？」で意見交換  
9月例会  
樺のホール 第1集会室 野田・九条の会

9月14日(日) 13:30 ~ 16:50

無料上映 & 「久米島の戦争 なぜ住民は日本軍に殺されたか」  
ディスカッション  
南部梅郷公民館 南地域九条の会

9月19日(金) 13:30 ~ 15:30

ちょっと硬派な  
自由参加 「おしゃべりカフェ」 政治や社会のこと気軽に  
おしゃべりしましょう。  
ジャスコ 3階 市民活動会議室 第2 野田・九条の会

10月5日(日) 13:30 ~ 16:50

無料上映 & 「ハルマゲドンを待ち望んで 米国政治を  
ディスカッション(楽しく語ろう) 動かす福音派」  
南部梅郷公民館 南地域九条の会